

1-5. 動植物の移植・移動の実施

⑤ヨシの移植

- ・ 周辺地盤高程度まで掘削した後、窪地にヨシ原の表土を敷き均した。



ヨシ表土の運搬、敷き均し



委員の立会い



ヨシ表土の敷き均し状況

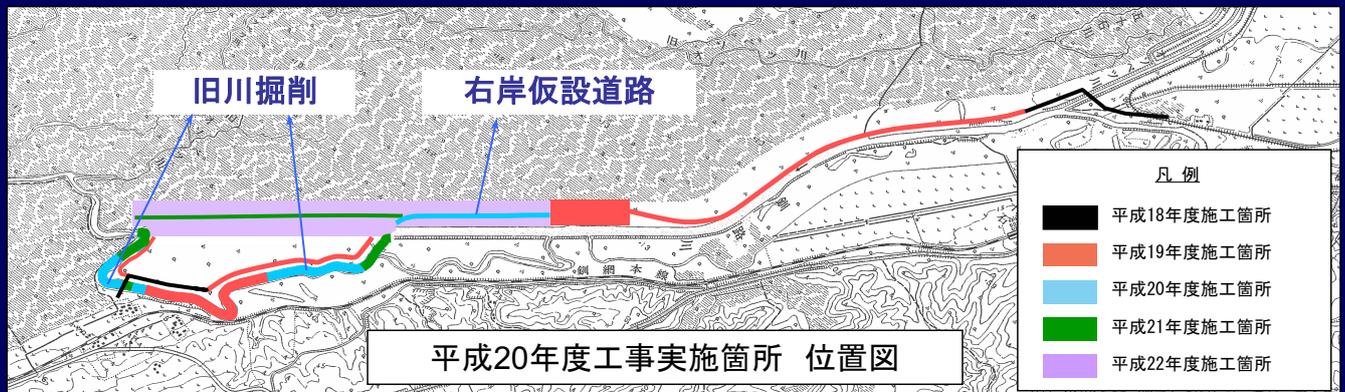


ヨシ表土の状況

2. 平成20年度の実施予定

2-1. 平成20年度の実施概要

平成20年度の工事実施予定箇所を示す(旧川掘削を引続き実施)。



37

2-1. 平成20年度の実施概要

平成20年以降も、工事の際に周辺環境に極力影響を与えないよう、以下の項目に配慮。

- ・ 締切矢板の打ち込み時などに、従来機より低騒音および低振動な重機を使用。
- ・ 専門技術者によるタンチョウの生息域調査を実施し、現場周辺のタンチョウの行動状況を図化し現場従事者全員に周知。作業箇所周辺にタンチョウが飛来した場合は、一時作業中止体制を確立。
- ・ 工事で直接影響を受ける貴重な植物や旧川の魚類などについて、工事前に極力、移植・移動を図る。

38

2-2. 動植物の調査移植・移動の予定

平成20年度以降も、以下の動植物の移植・移動を行う。

- ①陸上植物：直接改変箇所への配慮対象種
- ②水生植物：旧川掘削工事箇所への配慮対象種
- ③魚類等：旧川掘削工事箇所の捕獲生物

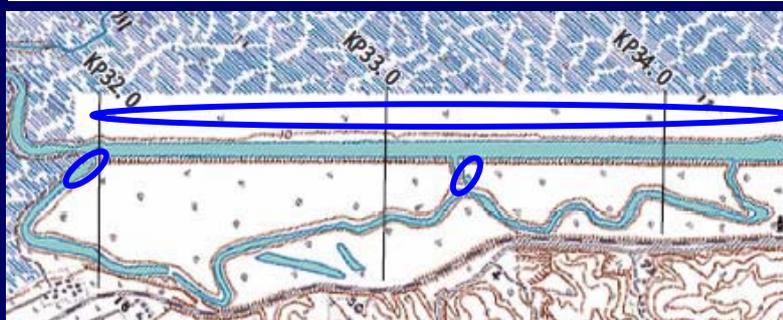
39

2-2. 動植物の調査移植・移動の予定

①陸上植物の移植

- ・陸上植物の調査を春季・夏季・秋季に行い、移植は適宜実施。

<現在の配慮対象種分布状況>
クロユリ、エゾナミキソウなどが分布



クロユリ

<種の生態的特性>

- ・保湿性が高い河畔林の林床や林縁に生育する多年生草本(クロユリ、オオハリスゲなど)
- ・明るい河畔林の林床や林縁に生育する多年生草本(エゾナミキソウなど)

<移植先の選定条件>

- ・種の生育地と同様な環境を持つ場所
- ・保湿性のよい土壌を持つ場所
- ・今後人為的な改変が行われる可能性が少ない場所



エゾナミキソウ

40

2-2. 動植物の調査移植・移動の予定

①陸上植物の移植

- 陸上植物の移植先候補地、移植方法を以下に示す。



移植方法



①移植株の採取
根茎を傷つけないように
移植ごてにより採取



②採取した移植株
バケツ等で個体を傷つけないように移動



③移植・撒水
活着を促すため水をまく

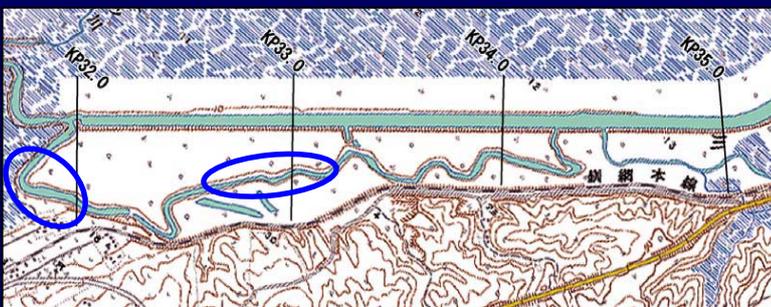
41

2-2. 動植物の調査移植・移動の予定

②水生植物の移植

- 旧川掘削箇所の水草の移植は秋季に実施予定。

<現在の配慮対象種分布状況>
ネムロコウホネなど



<種の生態的特性>

- 止水域に生育する浮葉性の水生植物(ネムロコウホネ)

<移植先の選定条件>

- 生育環境に適し、同種が生育していない止水域
- 今後人為的な改変が行われる可能性が少ない場所

42

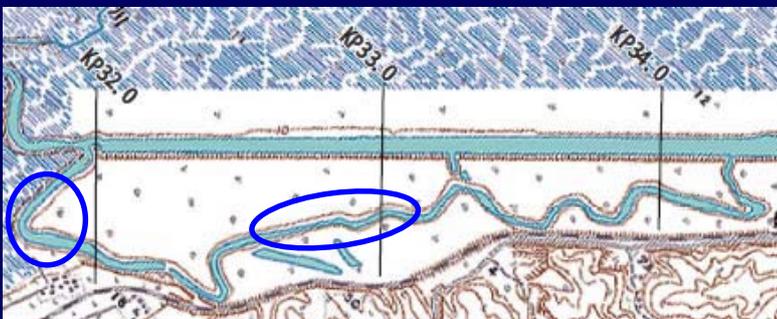
2-2. 動植物の調査移植・移動の予定

③魚類の移動

- ・ 魚類等の移動は夏季～冬季に実施。

<現在の配慮対象種分布状況>

ギンブナなどが分布



ギンブナ

<種の生態的特性>

- ・池沼、小河川等に生育する(ギンブナなど)。
- ・河川や湖沼に広く生息(ジュズカケハゼなど)。
- ・これまでに釧路川でも確認。

<移動先の選定条件>

- ・池沼、小河川などと連続性を持っている河川
- ・移動時間が短く、安全に放流できる場所

43

2-3. 地域との協働

捕獲・放流、移植作業は地域と連携して行う。



44